



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 3日 火曜日	試合コード	# 29
開催地 (都道府県名)	熊本県	会場名	山鹿市総合体育館

結果	A	スコア		B
			前半	
		21 — 3		
		後半		
		25 — 4		
		第一延長前半		
		—		
		第一延長後半		
		—		
		第二延長前半		
		—		
		第二延長後半		
		—		
		7m c		
		—		
		—		
	FRA	46	7	AUS

戦況	見出し	フランスの高い個人技で圧倒
	前半	試合はFRAのスローオフで始まった。先制したのはFRANの13 LWからのサイドシュート。FRAは固いDFから速攻への展開で、前半8分で7-1と一気にリードする。AUSはたまたまタイムアウトをとり立て直しを図るが、逆にDFファールで退場を出し、FRAに7mスローで追加点を与えてしまう。前半10分で8-1となる。なんとか返したいAUSはNo.8のロングシュートで1点返すが、FRAの高さのあるDFになかなか攻撃の展開が出来ず、さらにFRAへ速攻のチャンスを与えてしまう。FRAは高い個人能力を活かしフェイントやロングシュートで次々と点を重ねていく。AUSもNo.1 GKのナイスセーブも連発するが、追加点には繋がらない。前半は21-3のFRAの一方的な試合となった。
後半	後半に入っても流れは変わらない。FRAは前半同様5-1 DFでAUSの攻撃をことごとくカットやOFファールからの速攻の展開で点を重ねていく。AUSはポストを使った攻撃を仕掛けていくがフィジカルの強いFRAのDFを振り切ることはできない。後半10分で4-29となる。ここでAUSは攻撃をWポストへ変更する。FRAはワントップを下げてこれに対応。また、AUSはFRAのDFを4-2へ変更するが、逆に広がったエリアについて行けず退場を出し、7mスローの追加点をFRAに与えてしまう。疲れの見えるAUSは攻撃でも精細さを欠きOFファールやパスミスを犯し、FRAが速攻で得点をあげていく。前半の流れそのままにFRAが7-46で大勝した。	



戦況作成者	岩永 孝博
-------	-------